

マンライフケア デイでIOT実証実験 ヒューマン ライフ ケア ヒラ

自宅で行う運動メニュー提案

ヒューマンライフケア（東京都新宿区）は3月より、IOT技術を活用した新サービス開発に向け、実証実験を開始した。デイサービス利用者が自宅で取り組む運動メニューを提案・サポートするものだ。

同実験で導入するのは、ソニーモバイルコミュニケーションズの「AIFIT（アイフィット・仮称）」。ヒューマンライフケアが運営するデイサービス2施設



瀬戸口信也社長

設においてタブレット端末などを使用し、利用者の体力や認知機能を測定した上で、リストバンド型のウェアラブル端末を自宅でも装着してもらう。測定された日常生活データとともに集約・解析し、利用者一人ひとりに適

した運動メニューを提案するものだ。AIFITをウェアラブル端末とともにデイサービスに導入するのは初のケースだという。

した運動メニューを提案するものだ。AIFITをウェアラブル端末とともにデイサービスに導入するのは初のケースだという。

検証する項目は、①運動メニューに取り組むことによる体力や認知機能の変化、②ウェアラブル端末で測定し

た日常生活データの確認、③利用者やケアマネジャーら関係者の満足度、の3項目。実証実験の実施期間は6月まで。

た日常生活データの確認、③利用者やケアマネジャーら関係者の満足度、の3項目。実証実験の実施期間は6月まで。

自宅で取り組める運動の中でもヨガのニーズは高いため、グループ会社で教育事業を展開するヒューマンアカデミーのヨガ講座担当講師が、高齢者のための独自プログラムを開発。デイサービスで利用者にレクチャーする

機会も設けている。同社は「デイサービスをはじめとした在宅介護サービスにおいては、利用時間よりも自宅で生活する時間が長い。そのため、利用者の自宅での生活を見据えたサービス提供が重要」として、同実験を企画。介護予防や介護度の維持・改善の観点のみならず、ひいては介護スタッフの負担を増やさない仕組みに繋げていく方針だ。

機会も設けている。同社は「デイサービスをはじめとした在宅介護サービスにおいては、利用時間よりも自宅で生活する時間が長い。そのため、利用者の自宅での生活を見据えたサービス提供が重要」として、同実験を企画。介護予防や介護度の維持・改善の観点のみならず、ひいては介護スタッフの負担を増やさない仕組みに繋げていく方針だ。

機会も設けている。同社は「デイサービスをはじめとした在宅介護サービスにおいては、利用時間よりも自宅で生活する時間が長い。そのため、利用者の自宅での生活を見据えたサービス提供が重要」として、同実験を企画。介護予防や介護度の維持・改善の観点のみならず、ひいては介護スタッフの負担を増やさない仕組みに繋げていく方針だ。